

第1回市政モニターアンケート結果 「AEDって何？」について

1 アンケート実施概要

- (1)対 象 市政モニター 199人
- (2)回答者数 190人(回収率 95.5%)
- (3)実施期間 平成20年6月20日～7月4日
- (4)目 的 AEDを含めた応急手当の普及率を把握することにより、救命率の向上を図るための資料とする。

2 アンケート結果の概要

各設問の回答概要

問1 年齢について

「30～39歳」が26.8%、「60～69歳」が23.7%、「40～49歳」が14.7%となっています。

問2 性別について

「男性」が51.0%、「女性」が49.0%となっています。

問3 居住地区について

全体的には人口比率(平成20年4月1日現在)とほぼ同様のバラつきとなっています。

問4 AEDの認知度割合について

「名称も使用方法も知っている」が30.0%で「名称のみ知っている」の64.7%をあわせると、AEDの認知度は94.7%である。

しかし、「名称も使用方法も知らない」が5.3%のため更なる普及啓発が必要であると考えています。

問5 設置場所の認知度割合について

「ほとんど知っている」が3.7%に留まっているのに対して、「一部のみ知っている」が、63.7%であった。また「全く知らない」が26.8%であるため、設置場所について更に広報が必要であると考えています。

問6 設置場所を認知した媒体について

広報媒体としては、「広報さがみはら」が22.1%であり、他の媒体に比べて、効果が大きいという結果となった。

また、「その他」のうち、実際に設置してあるAEDを見かけたと回答した方も多数いたことから、設置場所を増やすことにより、認知度も上昇すると推測される。

問7 心肺蘇生法の認知度について

「知っている」が92.6%を占めていることから、市民のほとんどの方が、認知していると思われる。

問8 心肺蘇生法の習得度について

「習ったことは全くない」が53.2%で、少しでも習ったことのある方を上回っていることから、心肺蘇生法の必要性及び講習の実施場所等の広報を更に充実させる必要があると考えています。

問9 習得した救命講習を実施した機関等について

「学校又は勤務先で行われた救命講習」が34.1%であるのに対して、市主催で行われた救命講習が3.4%に留まっていることから、講習日等の広報について充実していきたいと考えています。

3 各設問と回答分布状況

問1 あなたの年齢をお伺いします。

- ① 19歳以下 ⑤ 50～59歳
- ② 20～29歳 ⑥ 60～69歳
- ③ 30～39歳 ⑦ 70歳以上
- ④ 40～49歳

選択肢	回答数	回答分布(%)
1	4	2.1
2	16	8.4
3	51	26.8
4	28	14.7
5	23	12.1
6	45	23.7
7	23	12.2
合計	190	100

問2 あなたの性別をお伺いします。

- ① 男性
- ② 女性

選択肢	回答数	回答分布(%)
1	97	51.0
2	93	49.0
合計	190	100

問3 あなたのお住まいの地区をお伺いします。

- 1 小山地区 12 田名地区
- 2 清新地区 13 上溝地区
- 3 横山地区 14 麻溝地区
- 4 中央地区 15 新磯地区
- 5 星が丘地区 16 相模台地区
- 6 光が丘地区 17 相武台地区
- 7 橋本地区 18 東林地区
- 8 大野北地区 19 城山町地区
- 9 大野中地区 20 津久井町地区
- 10 大野南地区 21 相模湖町地区
- 11 大沢地区 22 藤野町地区

選択肢	回答数	回答(%)	選択肢	回答数	回答(%)
1	5	2.6	12	9	4.7
2	3	1.6	13	7	3.7
3	5	2.6	14	5	2.6
4	14	7.4	15	3	1.6
5	5	2.6	16	8	4.2
6	8	4.2	17	3	1.6
7	24	12.7	18	18	9.5
8	18	9.6	19	2	1.0
9	13	6.8	20	7	3.7
10	19	10.0	21	1	0.5
11	9	4.7	22	4	2.1
	合計			190	100

問4 あなたは、AEDを知っていますか。

- ① 名称も使用方法も知っている。
- ② 名称のみ知っている。
- ③ 名称も使用方法も知らない。

選択肢	回答数	回答分布(%)
1	57	30.0
2	123	64.7
3	10	5.3
合計	190	100

問5 設置場所を知っていますか。

- ① ほとんど知っている。
- ② 自宅付近に設置してある場所のみ知っている。
- ③ 職場付近に設置してある場所のみ知っている。
- ④ 自宅や職場に関係なく一部のみ知っている。
- ⑤ 全く知らない。

選択肢	回答数	回答分布(%)
1	7	3.7
2	45	23.7
3	5	2.6
4	71	37.4
5	51	26.8
無回答	11	5.8
合計	190	100

問6 あなたはAEDの設置場所を何でお知りになりましたか。次の選択肢の中で近いものをお選びください。(複数回答可)

- ① 市ホームページ
- ② 広報さがみはら
- ③ チラシ
- ④ 救命講習等
- ⑤ 防災訓練等
- ⑥ 救急フェアによる広報
- ⑦ 催し物(市民桜まつりや泳げ鯉のぼり大会等)
- ⑧ 口コミ
- ⑨ その他
 - ・通りがかりに見かけた
 - ・駅や公民館などで実際にみかけた
 - ・AEDの文字が目についた
 - ・新聞・テレビの報道
 - ・通院中の歯医者でみた
 - ・幼稚園や小学校でみた

選択肢	回答数	選択率(%)
1	11	5.6
2	44	22.1
3	6	3.0
4	20	10.0
5	11	5.6
6	4	2.0
7	15	7.5
8	11	5.5
9	77	38.7
合計	199	100

問7 あなたは、「心肺蘇生法」という言葉をご存知ですか。

- ① 知っている
- ② 知らない

選択肢	回答数	選択率(%)
1	176	92.6
2	14	7.4
合計	190	100

問8 あなたは、心肺蘇生法又はAEDの取り扱い方法を習ったことありますか。次の選択肢の中で一番近いものをお選びください。(回答は1つ)

- 1 AEDの取り扱いを含めた心肺蘇生法を習った。
- 2 AEDの取り扱い以外の心肺蘇生法を習った。
- 3 AEDの取り扱いのみ習った。
- 4 習ったことは全くない。

選択肢	回答数	選択率(%)
1	32	16.8
2	49	25.8
3	7	3.7
4	101	53.2
	1	0.5
合計	190	100

問9 問8で「1」～「3」とお答えの方にお伺いします。どこで習いましたか。

(回答該当者88名)

- 1 市主催で行われた救命講習
- 2 学校又は勤務先で行われた救命講習
- 3 自治会等で行われた救命講習
- 4 自動車教習所で行われた救命講習
- 5 日本赤十字で行われた救命講習
- 6 上記以外に消防職員により行われた救命講習
- 7 その他

- ・職場に設置してあるのでメーカーの方に習った
- ・プール監視員のアルバイトをしていたときの講習にて
- ・ヘルパーの資格を取得する時に習いました。
- ・日赤救助員講習会や、スイミングコーチ取得時
- ・元看護師のため授業で習った
- ・高校の保健の授業で教えてもらった

選択肢	回答数	回答分布(%)
1	3	3.4
2	30	34.1
3	9	10.2
4	14	15.9
5	6	6.8
6	13	14.8
7	13	14.8
合計	88	100

問10自由意見(AEDに関するあなたのご意見やご要望を自由に記入ください)

主な意見及び市からの答え

主 な 意 見	市 からの 答 え
・AED の使用を含めた心肺蘇生法を多くの市民に周知していただけよう広報活動を続けて下さい。	・市ホームページ、広報さがみはら、FMさがみ、各イベント(市民祭り、消防フェア、消防出初式)や防災訓練(総合防災訓練、自主防災訓練)等で広報等を実施していますが、今後も積極的に広報等を実施してまいります。
・心肺蘇生法の講習会を設けていただき、合格者には免許を与えていただきたい	・現在「9の付く日は救命講習の日」というキャッチフレーズで、奇数月の9が付く日に救命講習会を実施しております。講習終了後の認定証の発行もしておりますので、是非ご参加下さい。
・AEDを使用して、万が一不幸な結果となったときの責任について法的にはどのような解釈となっているのでしょうか？	・一般市民の方が善意で実施した心肺蘇生法については、原則として、その結果を法的に問われることはないと考えられています。大切なことは、必要な場合には勇気を持って一刻も早く応急手当を行うことです。
・AEDの設置場所を知っていても使い方がわからないので活用できない人が多いと思う。	・使用方法については、救命講習会に参加して頂くことで学ぶ事が出来ます。講習日は、広報さがみはらに掲載され他、市ホームページで確認することが出来ます。
・AEDの設置場所や使用方法のPRはしているのか。	・現在、市ホームページに掲載させて頂いておりますが、広報媒体の選択等をもう一度検討し、多くの市民の方にとって頂くよう努力します。
・公共施設や身近なところにたくさん設置してほしい	・今後必要に応じて設置場所の検討をしていきます。
・AEDの使用は、かなり難しく一般人では会得するのが困難と聞いたが、本当ですか。	・基本的な、手順を覚えれば難しいことは、ありません。また、以前に比べてより簡単になりました。 ・救える命を救うために、一度救命講習会等に参加して頂き、心肺蘇生法をマスターして下さい。

主 な 意 見
・家族が狭心症の手術をしましたので興味もあり、設置もありがたいと思っています。
・実際にAEDで命が救われた人が身近にいる。AEDで生命が救われる状況を現実を知ることが大切だと思う。
・中学校以上は授業で講習を受講するようになれば躊躇せず利用できると思う。
・AEDの講習会に参加したいと思っています。近くで開催されたときに親子で参加したい
・鉄道会社に勤務しているのですが、AEDを適切に扱って助かった命を数多く見えています。AEDはとても有効なものだと実感しています。
・救命講習が有料なのは納得いかない。